

平成12年度技術研究開発賞決まる

11月15日、中電ホールにおいて技術研究開発賞候補審査が行われ、本店技術部門から推薦された9件名の発表と「最近の特許情勢」の講演(研究企画部 足立調査役)が行われた。

技術研究開発賞は、平成11年度中に評価が可能となった研究成果の中から、「高度な着想と創造性に基づく技術研究開発により、当社の事業経営や社会の技術進歩に大きく貢献するもの」「技術研究開発成果が学会など公的機関や社会から高い評価をうけたもの」を選考対象に、技術研究開発委員会(委員長:志賀副社長)で決定され、「社長賞」2件、「本部長賞」1件、「奨励賞」1件が選ばれ、12月13日、中電ビルにおいて表彰式と、社長懇談会が行われた。受賞者は別表のとおり。



社長賞の受賞者左から:久世、小笠原、鈴木、藤田、赤塚

社長の言葉より

「最近の研究成果を見ていると、他社とはひと味違う世界に誇れる研究所となってきたと思う。」

「今回の発表会の成果を誇りに思う。常に問題意識を持ち続けることが大切であり、最初から最後まで自分でやってみることが大切です。君達自身が汗をかいて自ら考えたものであり、こういった姿勢が大事だと考えます。」

【技術研究開発社長賞】

給電制御システムの共通業務ソフトに関する研究	制御通信部 制御グループ	鈴木 英之 小笠原史久
	岐阜支店 系統運用センター 制御システム課	久世 泰人
蓄熱式冷蔵ショーケースの開発	電気利用技術研究所 エネルギー効率利用グループ 電気応用チーム	藤田美和子 赤塚 義正

【技術研究開発本部長賞】

新活線劣化診断法の実用化に関する研究	電力技術研究所 電力グループ 配電チーム	熊澤 孝夫
--------------------	-------------------------	-------

【技術研究開発奨励賞】

ガス遮断器における直流分減衰時定数が遮断責務に与える影響の検証	工務部 技術開発グループ	馬場 重伸 川北 浩司
---------------------------------	--------------	----------------

第53回全社技術研究発表会

11月15日、中電ホールで第53回全社技術研究発表会が行われた。

この発表会は、昭和41年から全社的な技術の向上と事業場・支店・部門間の交流ならびに研究意欲の向上を図ることを目的とし開催している。当初は年2回の開催であったが、昭和63年の第41回大会より毎年1回定期的に開催し、平成10年第51回大会以降は、会場を中電ホールに移し全部門が一堂に会した発表会形式とした。

今年度は各部門から推薦された25件の研究成果を、発表者が演壇で研究成果を披露する「ステージ発表」とロビーでパネルや実物を展示して研究成果を紹介する「ポスターセッション」の二つに分かれて発表した。

審査の結果、ステージ発表では12件の発表のうち4件が優秀



審査結果を発表する
桂川研究企画部長

賞、またポスターセッションでは13件のうち5件が努力賞に選ばれた。受賞者は別表のとおり。

【ステージ発表】優秀賞

新型超電導ケーブルの開発 ~低交流損失/積層転位導体の開発~	電力技術研究所 電力グループ 超電導・新素材チーム	鹿島 直二 長屋 重夫
2脚1/2面 包み込み鉄塔高上げ工法の開発	静岡支店 静岡電力センター 送電課	松井 英徳 増田 和行
	本店 工務部 送電グループ	福澤 広充
保守コンソール統合・高度化に関する研究	本店 制御通信部 技術グループ	瀧本 隆 北村 和宣
現地発生材を活用した強化路盤工による道路新設工事の実施	本店 川浦水力建設事務所 工事課	西澤 邦夫 土山 茂希 椎葉 道明

【ポスターセッション】努力賞

発電機固定子鉄心劣化判定について	飯田支店 発電電課	富永 博文
	飯田支店 伊那電力センター発電電課	北原 茂雄
新しい鉄塔高上げ工法(TPU工法)の開発	岐阜支店 飛騨電力センター送電課	鷺見 俊弘
	本店 工務部 技術開発グループ	渡辺 貢
小水力発電所における無電源除塵機の適応性検討	三重支店 工務部 土木建築課	河村 晋平 中本 広宣
各種プラスチック材・洗浄材料等に関する研究	電力技術研究所 原子力・材料グループ 材料チーム	伊藤 博之 篠原 伸夫
IH用鍋の開発研究	電気利用技術研究所 エネルギー効率利用グループ 住環境・自然エネルギーチーム	森 秀樹 野本 智子